



「たんたん温泉福寿の湯」（豊岡市）がオープン
（本文中に関連記事があります）

目次／contents

人・まち・地域…………… 2

- ・たんたん温泉福寿の湯／高坂憲治
- ・地域・都市再生戦略とアートの時代～その3／尾関利勝

きんきょう…………… 6

- ・文化資産のまちづくり／三輪泰司
- ・サテライト型特別養護老人ホーム「こぶしの里サテライト今宮」がオープン /山崎博央・松木一恭
- ・新たに広がるパートナーシップ～授産所と一緒にできることを探して／廣部出

まちかど…………… 10

- ・沖縄墓事情／鮎子田稔理



たんたん温泉福寿の湯

大阪事務所／高坂

憲治

豊岡市但東町資母地区は旧但東町でも北部地域に位置しています。もともとこの資母地区は、旧但東町の温泉開発の調査の中で温泉整備の候補地として有望視されていた地域ですが、シルク温泉の開発を先行させ、平成6年にシルク温泉がオープンし、旧但東町及び豊岡市全体の交流拠点として育っていることは本誌でもたびたびご紹介してきました。アルパックでは、シルク温泉に引き続き宿泊施設やまびこの増築、直売所ふれあい館の設計、やまびこ全体の再整備計画、グリーンツーリズム基本構想、住宅マスタープランなど、様々な角度から旧但東町のまちづくりのお手伝いをしてきました。シルク温泉、宿泊施設やまびこの整備を機に旧但東町の交流人口は増大し、町内に民間の農産物直売所や農家民宿、マスコミでも話題のたまごかけご飯専門店「但熊」などがオープンし地域の活性化に拍車をかけています。

資母地区は、かつて但馬ちりめんの産地として隆盛を誇っていましたが、現在は他の地区と同じように過疎などの問題を抱えています。その一方では多くの交流資源も有しています。但東町とモンゴルの交流を象徴する日本モンゴル民族博物館があり、赤花そばの郷・農家民宿には、根強いファンが訪れています。毎年4月に開催されるチューリップ祭りには数万人の人が訪れ、100万本のチューリップに魅了されています。

このような状況の中で資母地区の活性化と振興を地区住民が自ら主体となって推進することを前提として当時の但東町長（現豊岡市副市長）は資母地区での温泉開発の決断を下しました。

平成15年頃から従来のまちづくりの取り組みに加え、地区住民から温泉を活かしたまちづくりへの期待が高まりました。「シルク温泉」や「やまびこ」の構想づくりや設計を通してお手伝いしてきた我々も地域に通い、まちづくりの方向や施設のあり方、地域の自立的経営などについて共に議論を重ねてきました。平成16年には温泉掘削に着手し、同年末には念願の温泉が湧出したのです。

シルク温泉との連携を図りつつ一味違った温泉として以下の考え方を地域の皆さんと共有しました。

- ・山間^{やまあい}のひなびた温泉をめざし、質素で小さくても周辺に溶け込んで、地元の人々の暖かさが感じられる施設や運営とする。
- ・温泉施設だけが中心となるのではなく、地域全体の施設や活動と一体となった運営とする。
- ・坂野地区の人を中心に資母地区全体で自立的に運営する施設とする。

平成17年には但東町を含む1市5町が合併し、豊岡市となってからも地元の熱意を市がしっかりと受けとめ、事業化が進められました。その間も地区の人とともに温泉のあり方や立地場所などの検討を重ね、今回の敷地が決定した後もその地にあった施設整備の方策について話し合いました。時には地域の人で運営する同じ規模の施設を視察するために奈良県や島根県まで出かけて行き、運営方法や施設についてのイメージを地区の人と共有しながら、設計や工事にとりかかりました。

こうして平成20年7月28日ついに念願の「たんたん温泉福寿の湯」がオープンの日を迎えることに



高龍の湯 露天風呂



高龍の湯の外観
(小学生が集めた玉石)



木の香り一杯のロビー



開放的な郷路の湯



民家をモチーフにした外観



ソーラー給湯用パネル

なったのです。オープン当日は時折激しく降る雨の中、なぜか式典の重要ポイントの時だけは晴れ間が広がりました。「誰か（お天とうさまと）連絡ととんなるんやろー」と皆喜びひとしおでした。地元福寿会による御神輿の練り込みや豊岡市のマスコット「オーちゃん」と「コーちゃん」（言わずもがなオオサンショウウオとコウノトリです）も登場し、和やかな式典となりました。

ここで少し「たんたん温泉福寿の湯」の設計の特徴についてご紹介します。

たんたん温泉は、西に但馬と丹後にまたがる標高697mの高竜寺ヶ岳、南に雲海が美しい標高620mの郷路岳を臨むことができます。恵まれた自然と眺望をこの温泉を訪れる人に堪能してもらいたいという思いから施設のコンセプトを「野天風呂」とし、浴室の窓を露天風呂に向かって全面的に開放することにより建物の内部と外部が限りなく一体となった浴室としました。四季の空気や気温、風、山間の音（水の流れ、鳥のさえずり、梢を渡る風の音等々）を体全体で感じるができる浴室になっていると自負しています。2つの浴室は、それぞれ但東町の住民の精神的なシンボルである郷路岳と高竜寺ヶ岳へのピスタを意識し、それぞれの浴室の名として命名しています。

- ・郷路の湯は、南に向かって視界が開け、遠く郷路岳を望む開放的な浴室
- ・高竜の湯は、高竜寺ヶ岳に向い森の中の湯となるよう沢音が間近に聞こえる浴室

施設は、周囲の集落や景観と馴染むよう、山間の民家をモチーフとしたデザインとし、兵庫県産の木材をふんだんに使用し、ぬくもりのある建築となっています。



高龍の湯



オーちゃん、コーちゃん



さあ、営業開始

また、この施設の大きな特徴として、小さいながらも山間の温泉施設として環境共生への取り組みを試みています。

- ・ソーラー給湯システムの採用（太陽熱で温水をつくることにより、化石燃料の消費を抑え、夏場であれば、ボイラーはあまり使いません）
- ・機械室で発生する熱を本館の床下暖房に利用（従来は外部に放出していました）
- ・近くのたんたんトンネル掘削に伴い湧出した名水「福寿の水」を浴室のカーンや厨房に使用（この福寿の水はたんたんトンネルの手前に水場があり、1杯飲めば幸福で長寿になると言われ、地元や近隣の人たちに親しまれています。）

また、高竜の湯の外壁には、自分たちの温泉として将来にわたって大切にしてほしいという願いを込めて、資母小学校全校生徒に集めてもらった玉石を積んでいます。

さて、オープンしておよそ2ヶ月が経過し、予想を超えるお客さんが訪れています。慣れないながらもみんな一生懸命で運営しています。お客様相手、水相手日々予想外のことも起こりますが、従業員、地区の人々、市役所の方々、我々も一緒になって難題を乗り越えていきます。この小さな地元住民の温泉も加えて資母地域、豊岡市の元気づくりが続いていくことを我々もまちづくりの一員として願っています。

周囲には田んぼやピーマン、ウドの畑があり、夏には向日葵も咲き誇ります。峠の茶屋ならぬ峠の温泉を暖かく見守ってください。そして、是非一度訪れてみてください。

たんたん温泉福寿の湯 TEL0796-56-1511

但東シルクロード観光協会 HP

<http://www.tantosilk.gr.jp>



地域・都市再生戦略とアートの時代とその3 21世紀初頭はアートフェスティバルでにぎわう

名古屋事務所／尾関 利勝

今回のテーマは、図らずも3回シリーズとなった。最終回の始めに、これまでのおさらいから始めたい。

これまでのおさらい

第一回はEUの「文化都市」指定で都市再生に弾みをつけるリバプールの最新情報に始まり、昨年度、アルパック名古屋が共同体で応募した愛知国際芸術祭構想検討調査の経過を紹介し、まちづくりとアートのコラボレーションについて妻有・大地の芸術祭や大草バンブーインスタレーション等にふれ、街に出始めるアートに引き継いだ。

第二回は街に広がるアートの背景を探るため、アート・インフラである美術館と劇場・音楽ホール、芸術系大学設置時期の調査から、現状を「美術館1000、劇場・ホール2000」と推定、20世紀後半の日本を「美術館、劇場・音楽ホールの量産時代」と捉え、その間の変化を「①美術・音楽の発表と鑑賞機会の増加、②建築家・建設業のビジネスチャンス、③美術館・音楽ホールの質的变化、④芸術活動を支える職業の多彩化、⑤全国化する芸術系大学・学部・学科、⑥近年盛んになる芸術フェスティバル」とし、今回への導線とした。

21世紀日本は世界のアートフェスティバル大国？

1945年以後では国内346、海外69の芸術祭を検索した。アクセスしたサイトは1500以上だが、開始時期の不明や海外は言語の制約から上記にとどまった。実態は国内把握率を施設調査と同様の凡そ6割として600～700以上、海外把握率を1割以下として1000以上と推測した。これが妥当なら日本は開催数では世界でも冠たる芸術祭大国と言うことができる。

アートフェスティバルは、近年ほど開催数が増え、国内では1980年代以後の開始が1945年以後の累計の約85%、2000年代の9年弱だけでも約45%となる。まさに21世紀初頭はアートフェスティバルの時代である。前回、美術館・劇場・音楽ホールの量産時代という皮肉めいた表現をしたが、その効果が少し時間差を置いて現れているようだ。

調査対象のアートフェスティバル～芸術祭とは総合芸術、音楽、映画、演劇、メディア系を含む美術・工芸・陶芸等のジャンル毎に「フェスティバル、祭、展」のキーワードで検索、そこから開催時期の分か

る案件を抽出した。染織、書道、生け花などの詳細分野や祭の定義が確認しにくい公募展、学校や個人、営業的取組等は割愛した。複合時代の芸術祭を見るにはそれらも把握すべきだったが、後に譲りたい。

アートフェスティバルの温故知新

1945年以前の日本では1907年の文展（帝展）の他、有田1896年、九谷1909年、五条坂1920年、益子1941年など伝統産地の陶器祭が見られた。海外ではバイロイト音楽祭が最も古く1876年（工部美術学校＝後の東京美術学校設置の年）、ザルツブルグ音楽祭1887年（東京音楽学校設置の年）、ベネツィア・ビエンナーレ1895年、ルツェルン国際音楽祭1938年など現在も世界的に評価されるフェスティバルがこの時期に始まっていた。コミュニティの取組例としては現在も続くカリフォルニアのラグナビーチ・アートフェスティバルが1941年に始まっている。

官の芸術祭と陶・工芸が先駆した1945～60年代

1945～60年代は主に官が芸術祭を開催した。1945年金沢市工芸展（祭）が最も早く、1946年旧文部省芸術祭と日展、以後北見市民芸術祭、岩手芸術祭、三重県展、市川市文化祭が開催され、1950年代も同様に高知、香川、熊本の県芸術祭、多治見、信楽、波佐見の産地陶器祭、1954年には日本工芸展が始まっている。

海外では1945年以後、プラハの春音楽祭、エディンバラやアビニョンの演劇祭、ブサンソン国際音楽祭、カンヌ国際映画祭、1950年代にはサンパウロ・ビエンナーレ、ストラトフォード演劇祭、パース国際アートフェスティバル、ドクメンタ、ワルシャワの秋現代音楽祭、カザルス音楽祭が始まっている。この時期は第二次世界大戦後のナショナリズムの高まり、戦災の復興と平和への希求が動機になったのではないだろうか。

1960年代も静岡、山形の県芸術祭、岡山、北九州、三島の市芸術祭、東日本伝統工芸展や兵庫、西部（福岡）の工芸展が開催された。特記すべきは1961年宇部野外彫刻展（後、現代日本彫刻展）で、その後、須磨、箱根の野外彫刻展が続き、現代美術ムーブメントを先駆した。1950年代のサンパウロやドクメンタの影響がうかがえる。この間、1960年にアヌシー（仏）

で国際アニメ映画祭が開催され、1966年にはジャパンアートフェスティバル（NY）が始まり、日本のアートの国際社会への復帰と交流が読み取れる。

多様化し、地方が発信する70年代以後

1970年代は官の芸術祭（5）、陶・工芸展（13）の他、新たに音楽祭（4）、映画祭（3）が始まり、地方での飛躍の兆しを見せた。湯布院が1975年音楽祭、翌1976年に映画祭を始め、今に続く地域活性化の先駆となっている。1945～60年代に検索出来た芸術祭が26、70年代26、併せて総数の15%である。海外では芸術祭8を検索、1974年CG・アニメのSIGGRAPH（ロス）、1975年オタワ国際アニメフェスティバル、街を舞台に市民参加で展開するミュンスター彫刻プロジェクトが1977年に始まった。この年日本では全国高等学校総合文化祭、翌78年に名古屋音楽祭、アジアでは1973年香港芸術祭がスタートした。

1980年代は49、1990年代90、2000年代154と10年毎に検索数がほぼ倍増し、合計293、1945年以後累計の約85%を占め、芸術祭時代の到来が察知できる。増加する80年代の特徴は多彩化である。新人育成を主題とする霧島音楽祭、小澤征爾をコアとする齋藤記念オーケストラなど音楽12、利賀フェスティバル、東京国際演劇祭など演劇7、映画7、官の芸術祭は福島県その他、市が6と地域を広げ、陶・工芸が有名産地からローカルに広がる中で国際陶磁器展美濃が始まるなど、テーマと地域の広がりが増大となった。海外ではメディア系のリンツ・アルスエレクトロニカ、ベルリン・トランスメディアレが始まり、武漢中国芸術祭、イスタンブール・ビエンナーレ、シンガポール国際映画祭などアジアでの芸術祭が増加し始める。

1990年代は1980年代の1.8倍に当たる90が検索され、夕張ファンタスティック映画祭始め映画が27、ファール立川、大草バンブーインスタレーション、佐久島アートフェスティバルなどのフィールドアートや東京・区の工芸展始め美術工芸27、札幌パシフィック・ミュージックフェスティバルなど音楽20、下北沢演劇祭など演劇9といずれも過去を上回り、同時に芸術祭が地方都市へ、都市から街へ、野外へと裾野を広げた。

海外では14を検索し、光州と上海のビエンナーレ始め半数をアジアが占めた。1997年文化庁メディア芸術祭とも連動し、上海で国際動漫遊博覧会、ソウルでSICAFが開催され、アジアでもメディア化が始まった。

アートフェスティバルが競われる21世紀初頭

2000年代は日本の芸術祭が飛躍的に増え、映画44、演劇33、音楽32、メディアを含む美術工芸31、官の芸術祭14、合計154を検索し、史上最大と思われる。大地の芸術祭、横浜トリエンナーレ、大阪アートカレイドスコープ、東京の夏・熱狂の日音楽祭など国際級の芸術祭が再び大都市を中心に展開し始めたのもこの期の特徴である。それだけではなく、北海道から沖縄まで多彩な芸術祭が展開している。海外では19を検索した。アジアの増加が著しく、韓国では瀬戸・東濃をモデルにした京畿道世界陶磁ビエンナーレが始まった。この時期には障害者、環境、先住民族、平和など社会性のあるテーマが取り組み始められている。

地域活性化戦略としてのアートフェスティバル

上述のアートフェスティバルの流れから時々の時代背景が浮かぶ。日本での契機は20世紀後半に量産された施設の活用が多いが、動機は地域おこし、芸術教育～交流、先端芸術発信、国際交流、出身者顕彰、社会的メッセージ発信など様々だ。世界に共通するのは観光波及を含めた地域活性化のツールとしての芸術祭である。ベネツィアはその歴史的典型であり、国内では湯布院、越後妻有、横浜などがその代表格として上げられる。先にオリンピックが開催された北京では前後して多数のアートプロジェクトを展開し、再度のオリンピックをねらう東京もその方向を志向しているようだ。アートが時代を予感させる力と地域のアイデンティティを現す力を持ち、それが世界の人々の共感を呼ぶことを認識すれば、そこにしかない新しい発信と交流の可能性を持つアートフェスティバルを地域戦略に組み込むことが世界共通の手法と言えるのではないか。2000年代には愛知、大阪、新潟、瀬戸内、沖縄で新たにアートフェスティバルが始まる。地域の活性化との関わりを注目していきたい。



文化資産のまちづくり

取締役相談役／三輪泰司

今年2008年は源氏物語千年紀。ゆかりの京都、宇治、大津そして福井県武生では、さまざまな行事で賑わっています。

源氏物語千年紀とまちづくり

「源氏物語」が何時書かれたか、「紫式部日記」に証拠があるそうです。

「御五十日は霜月のついたちの日」即ち土御門殿で的一条天皇と紫式部が仕えていた中宮彰子の御子敦成親王出産50日祝いの夜。紫式部の姿を見つけた左衛門の督(藤原公任)が、「あなかしこ。このわたりに、わかむらさきやさぶろふ」とうかがひ給う。源氏には似るべき人も見え給はぬに、かのうへはまいていかでものし給はむと、聞きるたり。”とあります。(池田亀鑑・秋山慶校注・岩波文庫版41頁)

若紫とは紫上にかけて紫式部のこと。若宮の大伯父になる公任という人は、なかなかのムーダメーカーですね。この頃、源氏物語若紫の巻が宮廷で読まれていたという証しです。紫式部30歳くらいのことでしょうか。

このエピソードは、1008年(寛弘5)のことですから、今年が千年目で11月を中心に記念しようというわけです。

NPO 平安京も忙しい

8月16日から31日まで、京都市生涯学習総合センターで「紫式部が生きた時代の京都」を開催しました。源氏物語を主題とする

友禅染、平安京カルタ、朝堂院出土遺物、記念切手・「ちゅう源氏」の原画、投扇興・貝合わせの体験など、とりどりに14も集まって、まちづくりの原理と同じ「屋台村」方式です。

京都市は源氏物語ゆかりの40ヶ所に説明板を設置しています。小学校同期のTさんから「私の育った家は、淑景舎(シゲイシャ)の跡です」とお手紙を頂きました。光源氏の母「桐壺更衣」の住いであった所です。史実とフィクションが渾然一体です。

私達の「出水小学校」は平安宮域の中、内裏の東南に位置していたのです。

木屋町・高瀬川のまちづくり

今年度も客員教授の委嘱を受けましたので、7月14日、祇園祭宵々々山の日、恒例の京都造形芸術大学(KUAD)とマサチューセッツ工科大学(MIT)両大学院の合同ワークショップを勤めました。

姉小路・新町通と重ねてきて、今年木屋町界隈をフィールドに選び、MIT・KUAD、各6名4チームが、立誠校でプレゼンテーションしました。立命館大学の学生や地域の皆さんにも参加して頂きました。

課題は校舎活用の提案に絞りました。ヴィスタの解析や、周辺の細街路に着目するなど正攻法でしっかりしていました。校舎の一部を住居併用ロフト型アトリエにという案もありました。

木屋町界隈は、京都中で私の一番好きな所です。

手が届くくらいにある水面と柳の緑豊かな空間は他にありません。春は桜の名所でもあります。

小学校が廃校になると、風俗営業がどっと開店して、この境界はあやしげな所とされていました。今は、立誠校は高倉小学校の第二教育施設になり、新規立地は規制され、警察も治安に取り組んでいますが、まだ折角の豊かな空間は“見えていても見ない”場所のようになっていきます。

木屋町・高瀬川界隈には平安京以来、ドラマがいっぱいあります。ここは文化資産のテーマパークみたいです。

歓楽と文化のまちづくり

1986年(昭和61)に伏見港の計画をした時、長尾義三先生と高瀬川も調べてみました。

高瀬川開削は、江戸時代初期1614年(慶長19)角倉了以・素庵父子による伏見から京へ主に物資運搬のための事業であることは、よく知られています。

モノとヒトが集まりますと次は楽しみ。1670年(寛文10)に鴨川に新堤が築造され、こんにちの先斗町が出来はじめます。幕末には、立誠校の地は、土佐藩屋敷でした。(図)

明治以後はめまぐるしくて、1880年(明治13)に京都・神戸・大津間に鉄道が開通し、物流が変わりはじめました。1890年(明治23)には琵琶湖疎水が完成、1895年(明治28)に岡崎での内国博覧会へ運ぶため、日本初の市街電車・京都電気鉄道木屋町線が単線で敷設されました。この時、高瀬川は

半分が埋め立てられました。

森鷗外の「高瀬舟」は、寛政年間（1789～1800）の話ですが、所得格差と安楽死のテーマは現代に通じます。

1918年（大正7）市が電車を買収し、1920年（大正9）高瀬川を暗渠にしての拡張計画が持ち上がりました。立誠学区の住民が反対し、河原町へ移ったのだそうです。おかげで木屋町界隈の情緒は保たれました。

近江八幡のまちづくり

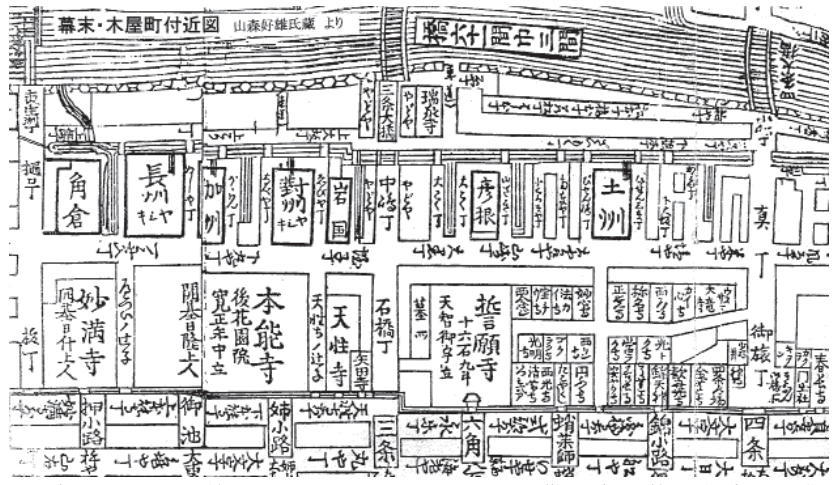
水辺といえば「近江八幡の水郷」を想い起こします。2006年（平成18）重要文化的景観第1号に選定されましたが、それは長い道のりでした。スポーツでも、まちづくりでも、苦ありて、功あります。

今年の7月4日、元近江八幡市長の川端五兵衛さんにお会いしました。国際ロータリー第2650地区ガバナーとして京都東ロータリークラブへ公式訪問に来られたのです。“町並みインタビュー”が掲載されている「季刊まちづくり」を頂きました。

“まちづくり”という言葉がまだポピュラーでなかった1972年（昭和47）のことでした。

西川幸治先生に紹介されて、保存修景計画のお手伝いをしました。住民はその前から八幡堀のヘドロ問題で陳情をしていますが、堀を埋めて駐車場にするという方向になっていました。

当時、近江八幡青年会議所理事長であった川端さんは、「堀は自然にヘドロ化したのではない。



市民がゴミを捨てたからではないか堀の汚れは心のよごれ、堀を埋めた瞬間から後悔が始まる」と訴えました。住民アンケートに協力しましたが、結果は「堀を埋めて駐車場にする」がダントツ。

川端さんは、住民要求にも2種あると言っておられます。これは「流行性ニーズ」。時の風潮にのる一過性ニーズ。対して、自然や歴史・文化に根を置く「本態性ニーズ」こそが地域のアイデンティティの源泉であり、まちづくりの根幹であると。

若者たちの先頭に立って堀の清掃奉仕を実行する中で、住民の空気は変わってきました。

死に甲斐のあるまちづくり

1982年（昭和57）から国土庁の「水緑都市モデル地区整備事業」が始まりました。滋賀県・滋賀総合研究所の計画策定に参画しました。私達には本格的な景観計画の始まりでした。

計画に従って整備事業がはじまり、1991年、八幡堀は新町通と併せて伝統的建造物群保存地区にも指定されました。

川端さんは、1998年（平成10）

から2期8年、第6代市長を勤められました。退任されて国際ロータリーのガバナーに選ばれ、この7月に就任されたのでした。川端さんは、生き甲斐とか働き甲斐とかあるが、まちづくり究極の思想は「死に甲斐のある終の栖」ではないかと言っておられます。誰でも人生を終えるのはただ一ヶ所。生を終える時、幸せだと思えるまち、それが死に甲斐のある栖です。自分が住んでいるところをよりよくして行こうという郷土愛こそが究極のまちづくりの源泉です。

さて、話題は、木屋町に戻ります。ワークショップのレビューで、木屋町も“住める街になるとよいな”と言いました。

1970年代、西木屋町に“れんこんや”というお店がありました。師弟・先輩後輩が文化を伝え伝えられる所でした。今、先斗町の“ますだ”や“実穂”がそのような役をしています。小さくとも、そこにこそ文化資産を活かし、地域に“本態的”な「活力」を生み出す源があるのではないかと思います。



きんきょう

サテライト型特別養護老人ホーム「こぶしの里サテライト今宮」がオープン

京都事務所／山崎博央
技術参与／松木一恭

キーワードは『地域密着』と『自立支援』

「こぶしの里サテライト今宮」は、北区は大徳寺の北方、今宮神社のお向かいに位置しています。小規模型の特別養護老人ホーム（1ユニット10床が2ユニット）、認知症対応型デイサービスセンター、高齢者・障害者の住宅、そして地域への配食サービスという4つの機能をもつ建物で、今年の2月にオープンしました。

「サテライト型」というのは、郊外にある大規模な施設から機能の一部を同じ区のまちの中に分散することで、入居者が住み慣れた地域で生活でき、また、地域との密なかかわりができる環境をもったタイプの施設のことで、「こぶしの里サテライト今宮」は、もともと原谷の方に本体施設である「原谷こぶしの里」という特別養護老人ホームがあり、そこから2ユニット分を今宮の



認知症デイ

方にもってきたものです。

事業主体は社会福祉法人七野会で、一人ひとりの思いや個性を大切にしながら、ゆったりと穏やかに暮らし続ける支援を目指しています。

家のような感覚で

完全個室化の小規模単位でのユニットで形成されており、「施設」というよりもむしろ「家」に近い規模の建物です。

各ユニットは、個室（10室）、LDK、浴室、便所、洗濯室から成っており、各ユニットに玄関も設けています。LDKを中心として周りを個室で囲むプラン形成とし、各個室の前にはそれぞれの利用者が飾り付けのできるニッチを設けています。パブリックとプライベートを分断するのではなく、そういったセミパブリックな部分を介してのつながりのある空間構成にしています。トイレについては、恥ずかしがる方もいらっしゃるということで、あまり気づかれなくて利用できるような隅っこに配置しました。各ユニットにある3つのトイレは、それぞれ異なる使われ方を想定



特養ユニット LDK

して、3つとも異なる形状の手すりを取付けました。また内装については、家庭の雰囲気と和めるよう、素材や色についても職員さんたちと一緒に何度も検討しました。

施設周辺には、今宮神社をはじめ、お寺や幼稚園などもあり、子どもとお年寄りがふれあうことのできる恵まれた環境が備わっています。

『住み慣れた地域で暮らし続けるために』が、法人の理念です。このような「施設でない施設」が地域に根付き、この施設とともに地域も育っていければ、今以上に温かみの感じられるまちになっていくのではないのでしょうか。

新たに広がるパートナーシップ ～授産所と一緒にできることを探して～

京都事務所／廣部 出

ご縁がありまして、現在、京都市伏見障害者授産所と一緒にできる仕事を探しながら業務に当たっています。きっかけは、そこに勤める友人からのメールでした。曰く、「仕事がない」

授産施設ってどんなトコ？

この授産所は、旧身体障害者福祉法に第1種社会福祉事業として位置付けられる身体障害者通所授産施設です。第1種社会福祉事業とは「利用者への影響が大きいことから、経営安定を通じた利用者の保護の必要性が高い事業」として位置付けられるものです。また、「授産」とは、ごく簡単にいえば「就業が困難な人に対して、就労の場や技能取得を手助けする」という意味です。この



建物外観



授産所では、印刷関連業務を主軸として、清掃業務や洗車業務などを行っているほか、紙箱の組み立てなど諸々の軽作業を請け負っています。

利用している人ってどんな人？

授産所というところを利用している人の一般的な様子についても、少しご説明する必要があります。まず、身体障がい程度は、一般就労には届かないものの、デイサービス等の生活支援サービスを利用するほどには重度ではない人がほとんど。ただし、身体に障がいのある人が利用する施設ではありながら、知的発達に軽度の遅滞がある人が利用者の約半数を占めるそうです。他方に、一般就労を目指す人が利用者の1/4程度ということですが、内面・精神的なもろさや社会性の未熟などのため、この人たちが実際に一般就労に至ることはなかなか難しいそうです。

収益アップを強いられて

施設を利用する人は、授産所が請け負った業務・作業に従事すること、業務・作業の経験を通じた職業訓練を行うこと、もちろん、その収入と障害者年金等によって経済生活の安定を図ることができるはずでした。しかし、平成18年10月1日から障害者自立支援法が本格施行されたことで、事態は変わりました。例えば、「障害福祉サービスに1割の利用者負担」が必要となって「仕事をしにきて利用料を払う」という構図になり、ただでさえ少ない工賃から利用料と昼食代を差し引いたら支出超過となる人さえ出るようになりました。

余談ですが、「一人前に働くこ

とが自立である」という間違った考え方に根ざした「就労促進策」など様々な問題のため、この法律は「自立阻害法」と揶揄されているところ。自立とは「誰かに頼らずに何かができる」という意味ではなく、「誰もが自らの意思を周囲に伝え、行動を選び、社会と協調する主体者である」という趣旨を示す表現に他なりません。

など他にも諸々あって、詰まるところ施設としての収益をあげるしかなくなっちゃったワケです。

仕事がナイ！

従来業務の状況を見てみましょう。清掃・洗車業務はピッカピカに磨き上げる仕事ぶりが人気で堅調ですが、なにぶん、身体に障がいのある人で従事できる人は限られます。軽作業はみんなで取り組める大事な仕事ですが、それほど収入が見込めるものではありません。業務遂行能力が高い人の充実感と一定規模の収入に結びつくのは、パソコンを使ってできる主軸の印刷業務です。今、これがうまくありません。一般家庭レベルまでパソコンが普及したことや、民間の印刷業者との設備・価格面での差が開き、相対的に授産所の競争力が低下して受注が少なくなってきたわけ。で、冒頭の話に戻りまして「仕事がない」。

国から「自ら稼げ」なんていわれなくても、授産所を利用する人には、仕事に対する意欲があって一定の作業力もある。なのに、授産所に仕事がない。授産所という単機能で、本来の使命を大幅に超えて仕事を獲得し

ていくことには限界があります。施設の職員さんが行政や縁故等を通じて作業労働を低賃金で請け負ってくるという「営業」では、授産所を「安心して通える職場」として利用している人の「当たり前の生活」に、もはや間に合いません。

手始めに、と模索を開始！

アルパックでは、ひとまずアンケート調査の実施にあたって、みんなでできる軽作業として封入・あて名貼りを、パソコンでできる作業としてデータ入力・集計などの業務をお願いすることにしました。まだまだ、試み・模索の段階ですが、こうした「一緒にできること」をもっとたくさん見つけていくためには、民間企業等からアプローチして授産所とそこを利用する人との相互理解を深めること、事業者も授産所もトクをする仕組みをつくること、それらを誰かがコーディネートすることが必要だと思います。



授産所相互のネットワークによって業務遂行力を強めることと併せて、そのように提案したところ、後に同じ法人の他の授産所でも強い関心を示されていたそうですので、ゆくゆくは障害福祉施設と民間企業の新たなパートナーシップとして広げていけるといいな、と思っています。

沖縄墓事情

大阪事務所／鮎子田稔理

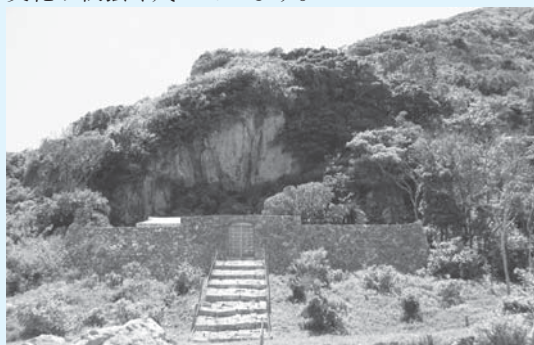


先日、沖縄県伊是名島に行ってきました。伊是名島は沖縄本島の北方に位置する総面積15.42km²で人口約1,700人程の小さな島です。那覇空港から高速バスで約2時間～名護から今帰仁村の運天港までタクシーで20分～運天港から伊是名島の仲田港まで約1時間と時間がかかります。

伊是名島は琉球国王第二尚氏の始祖尚円王の出身地で、農家の子として生まれた尚円王（童名金丸又は松金）は干ばつの時に尚円王の田だけ水が枯れなかったことから水盗人と疑われ、島から逃亡します。（あまりに美男子で疎まれたという説もあります）首里で後の琉球王尚泰久王に見出され、紆余曲折を経てついに琉球国王の座に登りつめたのです。

首里にある玉稜^{タマドロン}は沖縄でも最大規模の破風墓で世界遺産として有名ですが、実はここ伊是名島にも伊是名の玉稜があり、尚円王の父母が葬られています。

冒頭に書いたように、かなり時間がかかるので、本土から伊是名島へ観光で訪れる人は少なく、沖縄本島から海水浴やキャンプに訪れる人が多いように感じました。それもたくさんの観光客が訪れるという訳ではなく、その分沖縄の自然や文化が根強く残っています。



尚円王の父母が葬られている伊是名の玉稜

島のあちらこちらには、墓があります。沖縄のお墓はみなこのように広く（たぶん街中のワンルームマンションより広いでしょう）、旧暦3月清明祭には一族総出で重箱料理や泡盛を持ち寄って飲めや謳えの宴会を繰り広げるのだそうです。それは決して軽薄な行事ではなく、墓前で先祖との交流、親類縁者の交流として大切な意味を持っているのです。

さて、私がこの遠くて小さい島を訪れた理由は…アルパック40周年記念事業で講演をさせていただいた、沖縄の映画監督中江裕司氏の最新作「真夏の夜の夢（仮題）」の撮影が伊是名島で行われていたからです。

私も1日だけエキストラ参加をさせていただきましたが、1日中炎天下での撮影は想像以上に過酷で真夏の夜の夢ならず真夏の昼に意識朦朧といった感じでした。それでも監督以下スタッフのきびきびとした動きには頭が下がりました。

製作発表時の中江監督のコメントによると原作（シェークスピア）に敬意を払いつつ「しっちゃかめっちゃかファンタジックコメディ」映画が出来上がるそうで、公開は来年の予定です。

映画の情報はオフィスシロウズHP

<http://www.shirous.com/>



一般的なお墓 祖先と一緒に墓前で宴をする交流の場でもある

アルパック(株)地域計画建築研究所

<http://www.arpak.co.jp> E-mail info@arpak.co.jp

本 社

京都事務所 〒600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入立売西町 82
大阪事務所 〒540-0001 大阪市中央区城見 1-4-70 住友生命 OBP プラザビル 15F
名古屋事務所 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-19-24 名古屋第一ビル 6F
東京事務所 〒160-0001 東京都新宿区片町 1-20 萩原ビル 3F
九州事務所 (株)よかネット 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 福岡パールビル 8F

TEL(075)221-5132 FAX(075)256-1764
TEL(06)6942-5732 FAX(06)6941-7478
TEL(052)202-1411 FAX(052)220-3760
TEL(03)3226-9133 FAX(03)3226-9560
TEL(092)283-2121 FAX(092)283-2128